教科シラバス

◆教科	総合応用技術	◆科目	メイク応用	◆科目コード	60751	◆授業の方法	実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（通年）	◆担当教員	専任教員	◆授業の回数	3h×50
◆受講対象者	ビューティーアドバイザーコース選択者						
◆授業の目的と概要	イメージ、悩み、顔の構造から人に与える印象をメイクで向上、改善する。						
◆到達目標	モデルに合わせたメイクアップを的確に行える技術の修得。						

回数	授業方法	授業内容①	授業内容②	使用教材		備考
1	実習	教材配付／授業内容説明　1年生技術確認　PM	スキンケア			
2	実習	1年生の技術確認・復習　AM	スキンケア			
3	実習	ヘアショーメイク　AM				
4	実習	1年生の技術確認・復習	スキンケア			
5	実習	アイライン　求心的、遠心的	アクアパック			
6	実習	アイライン　求心的、遠心的	スキンケア			
7	実習	顔型修正メイク　丸顔	スキンケア			
8	実習	顔型を生かすメイク　丸顔	アクアパック			
9	実習	顔型修正メイク　面長				
10	実習	顔型を生かすメイク　面長				
11	実習	顔型修正メイク　四角形	アクアパック			
12	実習	顔型を生かすメイク　四角形				
13	実習	ヘアショーメイク				
14	実習	顔型修正メイク　逆三角形				
15	実習	顔型を生かすメイク逆三角形	アクアパック			
16	実習	顔型修正メイク　菱形				
17	実習	ヘアショーメイク				
18	実習	顔型修正メイク　モデルに合わせる				
19	実習	ヘアショーメイク				
20	実習	顔型修正メイク　モデルに合わせる	スキンケア			
21	実習	顔型修正メイク　モデルに合わせる	スキンケア			
22	実習	印象メイク　キュート				
23	実習	印象メイク　キュート	スキンケア			
24	実習	印象メイク　クール				
25	実習	ヘアショーメイク				
26	実習	印象メイク　クール	スキンケア			
27	実習	印象メイク　フレッシュ				
28	実習	印象メイク　エレガント				
29	実習	印象メイク　セクシー				
30	実習	印象メイク　ゴージャス　シルバー				
31	実習	印象メイク　ゴージャス　ゴールド				
32	実習	印象メイク　キュート	タイム30分			
33	実習	印象メイク　キュート	タイム30分			
34	実習	印象メイク　キュート	タイム30分			
35	実習	印象メイク　キュート	テスト30分			
36	実習	印象メイク　クール	タイム30分			
37	実習	印象メイク　クール	タイム30分			
38	実習	印象メイク　クール	タイム30分			
39	実習	印象メイク　クール	テスト30分			
40	実習	夏トレンドメイク	美容雑誌メイク			

41	実習	夏トレンドメイク	美容雑誌メイク			
42	実習	夏トレンドメイク	美容雑誌メイク			
43	実習	年代別メイク　1950年代(オードリーヘップバーン)	模写			
44	実習	ヘアショーメイク				
45	実習	年代別メイク　1950年代（マリリモンロー）セクシー	模写			
46	実習	年代別メイク　1960年代　（ツイギー）	模写			
47	実習	年代別メイク　1970年代　（ヒッピー）	模写			
48	実習	年代別メイク　1990年代　（アムラー）	模写			
49	実習	年代別メイク　1990年代　（山口紗代子）	模写			
50	実習	秋トレンドメイク				

評価方法及び基準	100点満点での実技テストを行い、チェックリストによる減点方式とする。
	【評価】80～100点→A評価　70～79点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。60点～69点の場合には、技術講習の受講を義務付ける。
	③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス

◆教科	総合応用技術	◆科目	BAメイク	◆科目コード	60748	◆授業の方法	講義・実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年通年	◆担当教員	専任教員 （実務経験あり）	◆授業の回数	3h×70
◆受講対象者	ビューティーアドバイザーコース選択者						
◆授業の目的と概要	基礎知識を深め、お客様に合わせたカウンセリング対応力を高めること。新商品や高評価・人気商品を用い、BA（ビューティーアドバイザー）として実務経験のある教員が、その経験を活かし、実際の店頭環境に近い状況でロールプレイングし、講義・実習を行う。						
◆到達目標	知識・接待・技術を身に付け、様々なお客様に対して臨機応変に対応することができるようになること。 個性を生かした自分のカウンセリングスタイルをつくることができるようになること。						

回数	授業の方法	授業内容①	授業内容②	使用教材		備考
1	実習	メイクチャート				
2	実習	メイクチャート				
3	実習	メイクチャート				
4	実習	メイクチャート				
5	実習	メイクチャート	評価			
6	実習	ブランドプレゼンテーション				
7	実習	ブランドプレゼンテーション				
8	実習	ブランドプレゼンテーション				
9	実習	ブランドプレゼンテーション				
10	実習	ブランドプレゼンテーション				
11	実習	ブランドプレゼンテーション				
12	実習	ブランドプレゼンテーション				
13	実習	ブランドプレゼンテーション				
14	実習	ブランドプレゼンテーション				
15	実習	ブランドプレゼンテーション	評価			
16	実習	ラッピング（キャラメル包）				
17	実習	ラッピング（円柱）				
18	実習	ラッピング（スクエア）				
19	実習	ラッピング（斜め）				
20	実習	ラッピング				
21	実習	ラッピング				
22	実習	ラッピング	評価			
23	実習	就職メイクサポート				
24	実習	就職メイクサポート				
25	実習	就職メイクサポート				
26	講義	皮膚の構造				
27	講義	皮膚の仕組み				
28	講義	皮膚の仕組み				
29	講義	皮膚の付属器官				
30	講義	皮膚の生理作用				
31	講義	スキンタイプの分類（普通肌）				
32	講義	スキンタイプの分類（乾燥肌、脂性肌、混合肌）				
33	実習	スキンケアアイテム・スキンタイプカウンセリング				
34	実習	スキンタイプカウンセリング				
35	講義	シーズンスキン（春・秋）				
36	講義	シーズンスキン（夏）				
37	講義	シーズンスキン（冬）				
38	実習	シーズンスキンプレゼンテーション				
39	実習	シーズンスキンプレゼンテーション				
40	講義	スキントラブル（乾燥）	評価			
41	講義	スキントラブル（ニキビ）				

42	講義	スキントラブル（毛穴）				
43	講義	スキントラブル（シミ）				
44	講義	スキントラブル（くすみ）				
45	講義	スキントラブル（くま）				
46	講義	スキントラブル（しわ）				
47	講義	スキントラブル（たるみ）				
48	実習	スキンカウンセリング（質疑応答）				
49	実習	スキンカウンセリング（質疑応答）				
50	実習	スキンカウンセリング	評価			
51	講義	スキントラブル（乾燥）				
52	講義	スキントラブル（ニキビ）				
53	講義	スキントラブル（毛穴）				
54	講義	スキントラブル（シミ）				
55	講義	スキントラブル（くすみ）				
56	講義	スキントラブル（くま）				
57	講義	スキントラブル（しわ）				
58	講義	スキントラブル（たるみ）				
59	実習	フルカウンセリング（質疑応答）				
60	実習	フルカウンセリング	評価			
61	講義	性別による肌の違い				
62	講義	スキンケアアイテム・スキンタイプカウンセリング				
63	講義	ヘアスタイル・ヘアケア				
64	講義	ベースメイク				
65	講義	アイブロウ				
66	講義	ボディケア				
67	講義	メンズファッション				
68	講義	メンズファッション				
69	講義	模擬問題	評価			
70	講義	メンズスタイルアップ検定（10月）				

評価方法及び基準	100点満点での実技テストを行い、チェックリストによる減点方式とする（授業8割以上の受講をもって評価する）
	【評価】90～100点→A評価　70～89点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。
	③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス

◆教科	総合応用技術	◆科目	中国語	◆科目コード	60742	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（通年）	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×20

◆受講対象者	ビューティーアドバイザーコース選択者
◆授業の目的と概要	中国語の基本表現を学び、挨拶及び接客における簡単なコミュニケーションがが取れることを目的とする。 簡単な日常会話の繰り返し練習を通じて中国語に慣れ親しみ、中国文化を体験することができる。
◆到達目標	わからない言葉は辞書や教材で調べながら、外国語であることを恐れることなく、 積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢ができ、接客で中国語が使えるようになる。

回数	授業の形式	授業内容①	授業内容②	使用教材	備考
1	講義	中国語の種類　標準語の特徴　発音記号の表記の仕方とアクセント 中国語と日本語の違い　中国文化の紹介			
2	講義	発音記号のおさらい 挨拶・感謝・謝罪			
3	講義	発音記号の復習　前回までの教科書内容の復習 喜び・お願い・同意			
4	講義	復習　あいづち・常用フレーズ 名前の中国語の発音について			
5	講義	復習　初対面での会話　名前の聞き方など。 日本語と似てる中国語の名詞について			
6	講義	復習　久しぶりの再会での会話 基礎的な文法			
7	講義	復習　場所と勤務先における会話 方向・移動に関する表現			
8	講義	復習　基本フレーズのおさらい 曜日　月　数字について			
9	講義	中間テスト 前回までの復習			
10	講義	中間テストの返却 前回までの復習　夏休みの勉強法について			
11	講義	復習　出身地について 日本の都道府県について			
12	講義	復習　友達・同僚についての会話 職業について			
13	講義	復習　家族についての会話 中国語の外来語について			
14	講義	復習　兄弟姉妹についての会話 時間・時刻・年月について			
15	講義	復習　お食事についての会話 お金の計算　支払方法			
16	講義	復習　趣味についての会話 ご不満があるお客様の対応			
17	講義	復習　電話でのコミュニケーションについて 道案内・困った人を助けるとき			
18	講義	復習　中国語常用単語 教科書全体のおさらい			
19	講義	期末テスト 復習　重要フレーズの徹底練習			
20	講義	期末テストの返却 質疑応答と中国語の今後について			

評価方法及び基準	中間テスト30%、期末テスト70%で評価点を算出し、欠席1回ごとに2点減点 【評価】90～100点→A評価、70～89点→B評価、60～69点→C評価 ①中間テスト、期末テストを欠席した場合、後日、追試験を受験することができる。 ②追試験を受験した場合、MAX60点として評価の対象とする。（学生のてびきに記載されるやむを得ない理由により受験した場合は素点を評価の対象とする）。 ③評価点が60点未満の場合、再試験の受験もしくは学校が指定した課題の提出を義務付ける。再試験を受験して合格した場合、60点としてC評価とする。

教科シラバス

◆教科	総合応用技術	◆科目	メイクセラピー検定2級	◆科目コード	60744	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（前期）	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10
◆受講対象者	ビューティーアドバイザーコース選択者						
◆授業の目的と概要	心理カウンセリングとメイクを融合したメイクセラピーを通じて、「メイクとメンタルサポートの知識と技術の習得」を目指す。 適切な「印象管理」を理論的に学び、心理学を理解することでコミュニケーション能力を向上させる。 メイクセラピストの在り方を学び、メイクセラピー検定2級取得者として、就職活動だけでなく将来の活動に生かせる知識と技術を身につける。						
◆到達目標	メイクセラピー検定2級合格あるいは同等の知識及び技術の習得						

回数	授業方法	授業内容①	授業内容②	使用教材		備考
1	講義	メイクセラピー的心理学、コミュニケーション		教科書		
2	講義	心理学　アイデンティティ カウンセリング概論	ロールプレイング	教科書		
3	講義	カウンセリング概論、心理療法	ロールプレイング	教科書		
4	講義	印象分析メイク実習	相モデルで実施 実技試験をふまえて実習	教科書	メイク道具	
5	講義	化粧心理 メイクプラン作成	なりたい印象になるメイク	教科書	メイク道具	
6	講義	メイクプラン作成 論述対策 模擬テスト		教科書		
7	講義	メイク理論復習 論述対策		教科書		
8	講義	論述対策 実技模擬試験 マナー		教科書	メイク道具	
9	講義	模擬試験 実技模擬試験		教科書	メイク道具	
10	講義	検定試験		教科書	メイク道具	

評価方法及び基準	
	出席率5割・プリント提出物3割・実技2割
	【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。
	③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス

◆教科	総合応用技術	◆科目	メイクセラピー検定1級	◆科目コード	60764	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（通年）	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10

◆受講対象者	ビューティーアドバイザーコース選択者
◆授業の目的と概要	心理カウンセリングとメイクを融合したメイクセラピーを通じて、「セラピストマインド」を育成し、メイクセラピーを活用できる技術を身につける。 メイクセラピーのカウンセリングを学び、クライアントと信頼関係を築けるコミュニケーション能力を身につける。 なりたい印象メイクができるテクニックを獲得し、メイクセラピー検定１級取得者として、将来の活動に活用できる知識と技術を身につける。
◆到達目標	メイクセラピー検定１級合格あるいは同等の知識及び技術の習得

回数	授業方法	授業内容①	授業内容②	使用教材		備考
1	講義	カウンセリング概論（コミュニケーション）	ロールプレイング	教科書		
2	講義	カウンセリング概論	ロールプレイング	教科書		
3	講義	メイクセラピー実習	相モデルで実施	教科書	メイク道具	
4	講義	メイクセラピー実習	相モデルで実施	教科書	メイク道具	
5	講義	対話分析		教科書		
6	講義	対話分析		教科書		
7	講義	模擬試験		教科書		
8	講義	模擬試験		教科書		
9	講義	模擬試験 実技模擬試験		教科書	メイク道具	
10	講義	模擬試験 実技模擬試験		教科書	メイク道具	

評価方法及び基準	出席率5割・プリント提出物3割・実技2割 【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価 ①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。 ②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。 ③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス							
◆教科	総合応用技術	◆科目	化粧品検定	◆科目コード	60762	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2023/24年度	◆開講時期	1年（後期）～2年	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×50
◆受講対象者	ビューティーアドバイザーコース選択者						
◆授業の目的と概要	日本化粧品検定テキスト・問題集を活用し、皮膚の基本的な仕組みから肌悩みに対する化粧品の選び方・メイク方法・生活習慣までの 美容知識を幅広く学び、トータルビューティーを習得する。 化粧品の中身をより詳しく学ぶことで、業界即戦力となる人材の育成。						
◆到達目標	必要な知識を習得し合格できるよう、とにかく問題になれる。						

回数	授業方法	授業内容①	授業内容②	備考	履修年次	備考
1	講義	日本化粧品検定とは…/3級範囲・まちがえがちな美容知識			1年次	
2	講義	3級範囲続き/3級まとめ・問題集/解説				
3	講義	2級範囲…皮膚の構造/皮膚のしくみと働き/真皮のしくみ				
4	講義	皮膚の機能/皮膚の構造・しくみ・真皮・機能までの問題集実施・解説				
5	講義	肌タイプと見分け方/問題集・解説/皮膚の構造・仕組み・働きの理解度チェック				
6	講義	肌悩みの原因とお手入れ・乾燥/問題集・解説				
7	講義	肌悩みの原因とお手入れ・ニキビ/問題集・解説				
8	講義	肌悩みの原因とお手入れ・毛穴/問題集・解説				
9	講義	肌悩みの原因とお手入れ・シミ/問題集・解説				
10	講義	肌悩みの原因とお手入れ・くすみ/問題集・解説				
11	講義	肌悩みの原因とお手入れ・くま/問題集・解説				
12	講義	肌悩みの原因とお手入れ・しわ・たるみ/問題集・解説				
13	講義	メイクアップの基本テクニック/肌悩みに応じた化粧品の使い方/問題集・解説				
14	講義	肌を劣化させるさまざまな要因・外的要因・内的要因/問題集・解説				
15	講義	紫外線が肌に与える影響について/問題集・解説				
16	講義	効果的なマッサージの必要性と方法/美しい肌をつくる生活習慣/問題集・解説				
17	講義	2級模擬問題・解説				
18	講義	2級模擬問題・解説				
19	講義	2級模擬問題・解説				
20	講義	1級範囲…化粧品の歴史/問題集・解説/化粧品原料の水溶性成分・油性成分				
21	講義	界面活性剤・増粘剤・ph調整剤・キレート剤・酸化防止剤・防腐剤・着色剤				
22	講義	前回までの範囲の問題集・解説/理解度チェック/スキンケア化粧品について				
23	講義	石けんの製造方法/化粧水～スペシャルケアについて/問題集・解説				
24	講義	男性肌の特徴/粉体のしくみ/UVケア化粧品/問題集・解説				
25	講義	ベースメイクアップ化粧品/問題集・解説				
26	講義	ポイントメイクアップ化粧品/問題集・解説				
27	講義	ボディ化粧品について/問題集・解説				
28	講義	毛髪と頭皮の構造/問題集・解説				
29	講義	ヘアケア化粧品について/問題集・解説				
30	講義	爪の構造と機能/問題集・解説				
31	講義	嗅覚のしくみと香りの種類/問題集・解説				
32	講義	オーラルケアとケア製品について/問題集・解説				
33	講義	サプリメントの基礎知識/問題集・解説				
34	講義	化粧品にまつわるルール				
35	講義	化粧品にまつわるルール/問題集・解説				
36	講義	官能評価について/問題集・解説				
37	講義	2級・1級範囲の総復習				
38	講義	2級・1級範囲の総復習				
39	講義	1級模擬問題・解説				
40	講義	1級模擬問題・解説				

41	講義	2級・1級範囲の総復習			2年次	
42	講義	2級・1級範囲の総復習				
43	講義	2級・1級範囲の総復習				
44	講義	2級・1級範囲の総復習/問題集に取り組む				
45	講義	2級・1級範囲の総復習/問題集に取り組む				
46	講義	1級模擬問題・解説/問題集に取り組む				
47	講義	1級模擬問題・解説/問題集に取り組む				
48	講義	1級模擬問題・解説/問題集に取り組む				
49	講義	1級模擬問題・解説/問題集に取り組む				
50	講義	1級模擬問題・解説/問題集に取り組む				

評価方法及び基準	試験の結果80点分（実施した試験の平均点を80点換算する）、出席状況20点分（持ち点20点で、授業を1回（3コマ）欠席するごとに0.5点マイナス）
	【評価】90～100点→A評価　70～89点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。
	③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。